

ハッシュタグ

幸せがじゅずつなぎになるまち 伊達

【特集】

今こそ伊達市を知ろう！

シティプロモーションとは

将来的に地域を支え、継続し発展させていく「担い手」を作ることを目的に、まちが持つ魅力を内外に伝え、まちへの想いや、まちに積極的に関わりたいという意欲を持った人々を増やしていくこと。

市民が誇れるまちに

伊

達市を自慢できるまち、誇れるまちにと皆さんが願うと思います。その一方で、「何もない」と言っていないでしょうか。

魅力は、料理の好みと同じように人それぞれ。でも魅力は知っているようで知らないもの。まずは、身近なところを知ってみませんか。そして、いいなと思うところを言葉や写真などで誰かに伝えてみてはどうでしょうか。きっと共感してくれる人が現れるはずです。一人一人が発信することで魅力がさらに磨かれます。

市では、「一人一人の交流が広がり、魅力を創造・発信し続けるまち」を目指して、シティプロモーションを推進しています。そのために、伊達市のライフスタイルや魅力を表す「ブランドメッセージ」を市民の力でつくりあげ、このメッセージが市民の「誇り」と感じられるよう育てていきましょう。

伊達市らしい メッセージを作る

市民ワークショップから生まれた伊達市のブランドメッセージの候補。
市民が選び、伊達市に馴染む、伊達市らしいメッセージを作る。

市民参加の総選挙

市民の想いを込めた伊達市のブランドメッセージが「#幸せがじゅずつなぎになるまち伊達」に決まりました。

5月1日から31日までの期間で市民参加の総選挙を開催。この総選挙は、市民ワークショップに参加した市民が考えた3つの候補から、スマートフォン・パソコンなどのウェブ投票や、市役所・各総合支所の窓口で投票箱に投票する方法で行いました。

どんなことに使うの？

伊達市を表し未来へ続くメッセージとして、伊達市の魅力を発信していく際に活用していきます。また、市民がメッセージを利用し、情報を発信する際に活用できる仕組みを作ります。また、メッセージを使ったSNSの投稿企画など、メッセージを育てていきます。

投票結果 (総投票数 3,365 票)

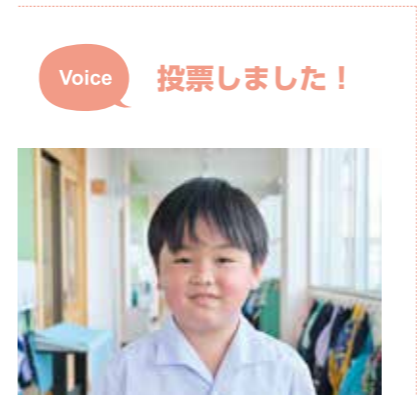
| | 候補メッセージ | 投票用紙による投票 | WEBによる投票 | 合計 |
|------|--------------------|-----------|----------|-------|
| 候補 A | #幸せがじゅずつなぎになるまち 伊達 | 300 | 1,323 | 1,623 |
| 候補 B | 自分にちよい盛りだつて伊達市だもん | 86 | 1,003 | 1,089 |
| 候補 C | さすけねえよ だて | 85 | 568 | 653 |

小・中学生も投票



小 中学校では、タブレット端末を活用して、ブランドメッセージ総選挙の投票に取り組みました。

上保原小学校の2年1組では、児童25人が総選挙に参加。参加した児童は、大きな



Voice 投票しました!

佐藤 凱理くん

僕の伊達市のイメージはくだものなどです。動画を見て僕思う伊達市のイメージのものがあつたので、そのブランドメッセージを選びました。この選挙の投票はタブレット端末で簡単にできました。これからタブレット端末を使って、もっと勉強をしていきたいです。



1. はじめに YouTube の PR 動画を全員で確認 / 2. タブレット端末で伊達市らしいと思う候補に一票を入れる

モニターを使って、3つのブランドメッセージ候補の動画を見て、ブランドメッセージに込められた想いを確認しました。その後、児童一人一人が思う伊達市のイメージに合うブランドメッセージの候補に投票しました。
市内の小・中学校では、今年度から一人一人にタブレット端末を導入して学習に取り組んでいます。



東海大学 教授 河井 孝仁
Kawai Takayoshi

シティプロモーションならびに公共コミュニケーション研究の第一人者として、公共コミュニケーション学会会長理事、総務省地域情報化アドバイザーなどを務めている。

心強く感じる市民の力

伊達市の市民ワークショップにおいてコーディネーターを務めました。ワークショップに参加された市民の皆さんは、最初の頃には戸惑いもあつたようでした。しかし、回数を重ねていく中で、伊達市の住民であること、伊達市に関わっていることに自信を深めていく様子を見ることができました。何を大事にする人にとって伊達市は素敵な場所なのか、そこから見える伊達市の力を再確認し、その力を言葉として着実に紡いでいく皆さんの姿を、とても心強く感じる事ができました。

決定!!

「#幸せがじゅずつなぎになるまち 伊達」

子どもからお年寄りまで**幸せ**がつながるまち
地域の**輪**が広がるまち
幸せのサイクルが**じゅずつなぎ**のようにつながるまち

候補 A を考えた皆さんの想い



温かな人がたくさんいる伊達市を知ってほしい

普段は営業職として働いています。伊達市出身じゃないことで戸惑うこともありましたが、お客さんから伊達市のことをたくさん教えてもらいました。方言の意味、帰りの近道、時には両手いっぱいのお菓子を頂いたり。このブランドメッセージをきっかけに、温かな人がたくさんいる伊達市を多くの人に知っていただければと思います。



人と人が関わり共有・伝えることで

伊達市には自然や文化、農作物などたくさんの魅力がありますが、人と人が関わったり、共有したり、伝えることでその魅力が増すと考えました。SNSを活用する若い世代からお年寄りまで共感できるメッセージをイメージしました。今後、市民の皆さんに伊達での幸せエピソードを共有してもらえたらうれしいです。



地域で感じる幸せを共有することで

伊達市は素敵なものが数多くありますが、魅力の原点はちょっとシャイだけど何でも受け入れてくれる住民の皆さまの温かさ。そんな住民同士が「地域で感じる幸せ」を共有しあい、それが地域全体に共鳴し広がっていけば、真の魅力ある健康都市伊達になるのではないかと思います。

市民ワークショップ

令和2年7月に参加者を募集。9月から市民11人が伊達市の魅力を探ることからスタート。



1人20個以上の伊達市の魅力を洗い出した。班ごとに付箋を使いながらまとめた。



各班ごとに伊達市の魅力を発表。どの班も新たな気づきを与える魅力を見つけていた。



新型コロナウイルス感染拡大の影響から、延期やリモートなど我慢の時期もあった。



河井先生のコーディネートにより、魅力に当てはまる人物像やストーリーを考えた。



人物像に宛てた手紙を作成。その手紙を基にブランドメッセージを考案して発表。

ブランドメッセージの案が完成!



令和3年3月18日、5回目の市民ワークショップで各班ごとにブランドメッセージを完成させた。

魅力や情報の発信 シビックプライドの醸成

「伊達市シティプロモーション指針」を策定。将来的に地域を支え、継続し発展させていく「担い手」を作る。まちに関わりたいという意欲を持った人を増やす。

継続した発展へ

市

では、持続的発展が可能なまちを目指して、「伊達市シティプロモーション指針」を策定しました。

指針を基に市を推奨する意欲、地域活動に参画する意欲、地域で活動する人へ感謝する意欲を高める活動を進めていきます。そして、市の魅力の発信や応援・支援する担い手を増やしていきます。このような活動をつなぎサイクルをつくることで、地域の魅力の向上につなげていきます。

伊達市を知って 魅力を探してみよう!

遠出もできない。多くの仲間との交流も控えている。こんな時だからこそ、知っていると知らない伊達市の魅力を探す。新たな交流のきっかけに。

今こそ、見つめ直そう

コ

ロナ禍のこんな時代からこそ、身近な地域を見つめ直して、より深く知るきっかけにしてはどうでしょうか。知っているようで知らない事がきつとあるはず。知りたい事を見つけたら、物知りの人に聞いたり、観察したり、それぞれの楽しみ方も見つかるかもしれません。

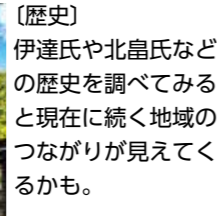
見つけた魅力を写真に納めて、SNSで発信してみませんか。なかなか会えない人と共感できるチャンスです。



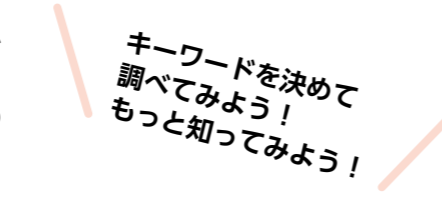
〔くだもの〕
伊達市といったら桃!そして四季を通して味わえるくだもの。伊達市で味わえるくだもの種類、品種、生産量、栽培面積などを調べてみるのも楽しい。きっとおもしろさの理由が見つかるかも。



〔里山〕
気持ちのいい田園風景が広がる伊達市。季節で変わるお気に入りの場所が見つかるかも。



〔自然〕
身近なところに自然が広がる。歩いて、身近な自然に触れることで、新たな発見が見つかるかも。



〔伝統〕
多くの伝統芸能が保存継承されている。見たら伝統の素晴らしさに気付き、応援したくなるはず。



〔花々〕
桜やアジサイなど手入れをされる人たちに話を聞いたら、多くの人たちに伝えたいくなるはず。



〔伝統〕
多くの伝統芸能が保存継承されている。見たら伝統の素晴らしさに気付き、応援したくなるはず。

キーワードを決めて調べてみよう! もっと知ってみよう!

遠くの知人・友人に会いに行けない、こんな時だからこそ、写真や動画を発信し、交流してはいかがですか?

「ひととひとの交流が広がり、 魅力を創造・発信し続けるまち」を目指して

伊達市のい〜ない! で話の話題に



一人一人がお気に入りの伊達市を発信することで、魅力がいっぱいの伊達市へ。

#いいないだてをフォローや検索

「#いいないだて」をフォローや検索することで、旬な伊達市の魅力や情報を共有できる。新たな発見に出会えるかも。



「#いいないだて」を付けて投稿する

撮った画像に「#いいないだて」を付けて、Instagramで投稿完了! 他の人の投稿をみて、気に入ったら♡を押そう。



伊達市内の写真撮る

散歩など普段の生活で出会ったみんなに見せたい伊達市を、スマートフォンやカメラで撮影する。いいなあと思ったら撮ろう。



市公式アカウントをフォローする

伊達市公式Instagramアカウントをフォロー。



「iinai date」で検索またはQRで!



Instagramをインストールする

iPhoneやAndroidのアプリストアで「Instagram」を検索し、インストール。



Instagramを使って、みんなの魅力共有しよう! 皆さんが思う伊達市の「い〜ない!」と思う魅力を発信しましょう。Instagramなら、利用者同士で「い〜ない!」を共有できます。

発信、認知、意欲、行動、共感がつながるサイクルの輪を太く、大きく

共感・・・感謝、支援、応援



新たに伊達市の魅力を発信する「だてフォト部」を7月に立ち上げる予定。身近な魅力を発信する担い手をつくり出します。この担い手を核として発信・応援する仕組みの確立を目指します。

発信・・・伝える、口コミ、拡散



「伊達なふるさと大使」「伊達な宣伝部長」を任命。市内外で活躍されているご自身の活動の中で、伊達市の魅力や情報を発信していきます。

行動・・・訪れる・体験・実感



東北楽天イーグルスのプログラムを活用した仙台都市圏への情報発信や、魅力発信動画・ポスターの制作、里山稲作体験、無料家族写真撮影会など、交流・関係人口を増やす取り組みを行います。

認知・・・見る、聞く、興味、関心



サイクルを形成することで、推奨・参画・感謝の意欲を向上、ブランドの形成

市では、Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeを活用して、市の魅力を発信しています。特にInstagramやYouTubeでは、市の魅力に特化した発信をしています。